

ゴム製品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者規 模
2017	1	19～ 20	工場内に於いて、金具の入っている箱を取る際右手に当たり、腫れて痛みが生じた。	25	611	3	30～ 49
2017	1	10～ 11	トイレと事務所までの通路にて歩行中、清掃後で床が濡れていて、松葉杖が滑って転倒し、右ひじを強打した。	46	417	2	30～ 49
2017	1	10～ 11	工場内でインソール（陸上スパイクの底）をグラインダーでのバフ加工中、突然グラインダーの石が割れ、その破片で右手親指骨折と切り傷を負った。	74	169	4	1～9
2017	1	17～ 18	コーティング機の原反巻き取り側にて原反カットをする際に、自分でカットスタートボタンを押した後、丸刃走行レール部に手を置いていたため両手を切った。	43	169	8	10～ 29
2017	2	23～24	工場内、定尺太物耐圧テーブル上で、ホースがクロスしていたので手直しをした後、現場巡回の為、北側昇降階段を下りようとした時、4段ある内の下から3段目を飛ばして、2段目に足を掛けた際、ステップのエッジから右足を踏み外しそのまま床面まで滑り落ち外側に捻った足首を骨折した。	38	413	1	300 ～ 499
2017	2	16～17	ゴム成形機でゴム生地を入れいてる時にゴム生地状成形カッター機内でカットしたゴム生地が引っ掛かり、引っ掛かったゴム生地を除去する際、機械の電源を切らずに、出口側から手を入れてしまい、動いてきた回転刃で左指の3本を切断してしまった。（左手の人差し指、中指、薬指）	56		7	300 ～ 499

2017	2	13~14	押出品製造現場で、シール材を一定長さに連続裁断作業をしている時に、シール材が裁断刃に接着し、頻繁に跳ね返る現象があったので、安全カバーを外し、裁断刃が剥き出しの状態となっており、シール材のセッティング直後に粘着剤が刃に引っ掛かり、改善しようと裁断刃に指を入れて左手母指切創した。	59	169	8	100 ~ 299
2017	2	18~19	製造部1棟建屋外で、トイレに向かう途中にパレットに足を躓き頭を強打してしまった。（周辺が暗く地面に置いてある黒色のパレットが見えにくかったため躓いてしまった。）左目前頭部打撲、左目下擦り傷。	56	379	2	50~ 99
2017	2	17~18	工場1階の本人の担当成形機からトイレへ行く際、途中の通路に置いた未仕上げ成形品を入れた樹脂製カゴを積んだパレット（120×1,100×1,100）の（110×300）の穴の角に、誤って右足の小指をぶつけてしまい、ひびが入ったものである。	47	379	3	10~ 29
2017	3	10~11	工場内で材料とゴムを練り合わせる作業をしていて、練り上がった材料を取り出したあと、機械の中に少し残った材料を取ろうとしたが、機械がまだ止まりきっておらず、右手を挟まれた。	32	163	7	1~9
2017	3	14~15	工場内でパレットを製作中、出来上がったパレットを真っ直ぐ立てかけたため、その場を離れた際、パレットが倒れ右足のふくらはぎにぶつかった。	40	379	5	10~ 29
2017	3	10~11	作業中に重い鉄板を持って移動中に、誤って溝に足がはまり転倒し、頭と背骨を床に強打し、自力で起き上がれなくなった。	63	414	2	1~9
2017	3	15~16	工場でベタライザー（成形機器）の清掃中、スクリュウ近辺を吹く時に滑りスクリュウに挟まり、右手人差し指先1cm位を切断してしまった。機器が完全に止まっていない状態で作業してしまった。	29	169	1	50~ 99
2017	3	12~13	工場内の金型で整形したゴム製品を取り出し易くする為に、エアードスターガンを使用して高圧エアーをかけているが、ノズルとホースとを繋いでいるホースバンドが緩みホースが外れ、ホースが目の付近に当たった。	20	169	4	50~ 99

2017	3	13~14	紐で縛ってあった空箱とパレットが風で横倒しになっていたのに、パレットをつかみ横倒しになっていた箱を起こそうとしたとき、紐が切れて左足に力が入り、骨折となった。	52	921	19	100 ~ 299
2017	3	11~12	技術部試験室隅の小部屋でクッションタイヤ接着確認中に、部品（ゴムタイヤ）のゴム部分をカットしようと、カッターナイフで切り取る作業をしていたとき、力が入るように自分側に刃を向けて切り取ろうとした。力を込めた際に製品から抜け、勢いがあまり自分側に向いていた刃が右足膝付近にささり負傷した。	27	364	8	100 ~ 299
2017	3	16~17	未加硫ゴム（ゴム生地）混練り工程のオープンロール練り作業に於いて、ロールで練り込んだシート状のゴム生地一部を切り取ろうと、右手で包丁を持ちゴム生地をカットし、左手でゴム生地を取ろうとした際に、ロール上部のバンク間のゴム生地（ロール練り込み口上部の隙間に溜まるゴム生地の塊）が手前に落ちてきたため、左手がゴム生地に巻き込まれた。すぐに非常停止を作動させたが、左手をゴム生地から抜くまでの間、ゴム生地温度が約80℃あったため、左手手首までの手背と手掌を火傷した。	23	163	7	100 ~ 299
2017	3	18~19	カレンダーロール機を使用時のフリクション作業（スダレの上にゴム層をのせる）時、シャフトに挿入されたスダレ（巻物）をセットした際に、回転時の落下防止としてストッパーで固定するが、両側ともストッパーに使用を忘れて始動させたため、スダレが落下し左足大腿部を負傷した。	44	169	4	100 ~ 299
2017	3	14~15	機械の掃除中、機械の裏に回ろうとした際、床面に30cm程の段差があり足を踏み外し、段差の角で右ひざを打ち、右ひざの皿を骨折した。	59	419	3	100 ~ 299
2017	4	14~15	工場内で樹脂プレス作業中に機械に異常が引き引掛かりが生じたため調整しようとしたとき、通常は手動に切り替えて調整するところ、自動のまま行ったため、右手中指末節を機械に挟み粉碎骨折した。	20	169	7	10~ 29

2017	4	6～7	金型が途中で止まり閉まりきらなかったため監督者が対応したが再度停止したため、不具合箇所を説明する際に指で指し示していた時に残圧で金型が閉まり左手人差し指を負傷した。	28	169	7	100 ～ 299
2017	4	23～ 24	化繊コードを連動にて貼り付け中に、本来上下に離れているコードが密着したため、それを剥がそうとして手で触れたとき、ローラシャフトとコードの間に左腕を巻き込まれ、左前腕を開放骨折した。	21	169	7	100 ～ 299
2017	5	5～6	タイヤのゴム練り工程でシート状のゴムをロールで練り上げる作業を行っていた。練り作業中ゴムの塊がロールから受け皿に落下したので繋ぎ用のゴムを貼り付け上昇させようとしたとき、繋ぎ用のゴムが外れてゴムの塊が落下し（約300kg）、受け皿の外まで転がり落ちて、よけきれずに足に当たった。	35	529	4	1000 ～ 9999
2017	5	9～ 10	スライス機（5号機）の作業において、材料をリフター台にセットし、吸着装置にて材料をスライスラインにのせたが位置が悪く一度機械を停止し材料の位置決めをする際に、自分の手で手直しを行った。足場には踊り場が無く、足を踏み外しピット内に落下し、左肋骨骨折及び胸腹部打撲を負った。	54	529	1	30～ 49
2017	5	16～ 17	派遣先工場内作業場の検査機械の隣りで、良品・不良品の検査作業中、不良品の入ったカゴ（10kg～15kg）を持ち上げた際に腰を痛めた。	34	611	19	500 ～ 999
2017	5	14～ 15	200t自動ブレスの作業が終わり、次の100t自動ブレスの作業に入る際、通行禁止の通路を通り、板に躓き転んで左膝靭帯を損傷した。	56	522	2	30～ 49
2017	5	14～ 15	会社のゴミ置き場にて重たいゴミを捨てようとして歩いている時に、他のゴミを跨いだところ誤って足を踏み外し、足首を捻って負傷した。	39	417	2	100 ～ 299
2017	5	2～3	5工場ビード部補強材成型機で角度替えのため、ガイドを左から右へ切り替えようと右手でボルトを六角レンチで緩めている時に、急	52	169	19	1000 ～

			に緩んだため、支えていた左手を捻った。					9999
2017	5	2~3	タイヤを加硫する加硫機で、加硫の際に使用するブラダー（タイヤの内面の圧力を維持するための風船状のもの）の交換作業を実施中、取り付けたブラダーの下部を清掃する為、水圧で上昇状態であったブラダーを下降ボタンを押して下降させた。その際、被災者は下降しているブラダーと加硫機の底面に右手親指を挟まれた。	26	169	7	~	1000 9999
2017	5	15~ 16	製品を金型を使用して成型する作業中に、金型から製品を取り出す作業において、製品を指で掴んだ際、金型が高温になっており熱さを感じていたが、作業初日であったため異常と捉えず作業を継続した。何度も熱さを感じるので疑問を持ち、先輩作業者に確認してもらったところ、指に火傷をしていた。	24	529	11	50~ 99	
2017	5	22~ 23	工場内インジェクション機械で金型から製品を取り出す作業を行っていたとき、中金型が貼り付いたままであることに気が付かないまま、製品を取ろうとし、中金型が落下し負傷した。	37	169	4	30~ 49	
2017	6	9~ 10	工業用品製造課3号プレス機でHBパッキン1000Lをプレス作業中、加硫終了後製品から中芯をウインチを使って引き抜く作業で、右手にスイッチボックスを持ち、左手にフックを持ち「下」のボタンを押してフックを中芯に誘導した。途中でゲートがあるため一時停止しフックを通した後、作業再開した際に、誤って「上」を押したため、フックとゲートの間に左手親指を挟んだ。停止後逆転させようとしたが、誤って「上」を押し圧迫した。	25	219	7	50~ 99	
2017	6	7~8	退社時に駐輪場から原付バイクで場内出口方面に走行中、場内に入したトレーラーがトラックヤードに左折した時、退社中のバイクと接触し、巻き込まれた。	62	231	3	~	100 299
2017	7	4~5	自社工場内において自動車部品用ゴム製品のプレス成型作業中、作動ボタンを押した後に治具上の素材が所定の位置にセットされていないことに気付き、急いで修正しようとしたところ、降下してきた上型と下型との隙間に左手の小指を挟まれて負傷した。	58	154	7	30~ 49	

2017	7	14~15	材料切断場所で太めの材料を切断している時に、通常であれば、材料が刃に当たった際に引くのだが、押し出していた材料が、少なかったのか、刃が材料を滑った様になり、材料がくねり、材料を持っていた右手が、刃の方へ持って行かれ手が返され、親指が刃の固定ボルトに押しつけられ骨折した。	68	169	7	10~ 29
2017	7	11~12	工場で生ゴムのシートを製造するために、ロール機から出てくるゴムを取ろうとした際に、左手で取ろうと注意を向けていたため、右手の注意が疎かになり、軍手をしたままロール機に右手を挟み負傷した。	28	163	7	50~ 99
2017	7	14~15	第9棟2Fより、作業用ラックを1Fに1人で下ろそうとしたとき、通常は昇降台をボタン操作で2Fに上げ、昇降台が2Fにあることをランプ点灯で確認してからシャッターを開け荷物を搬入するところ、昇降台が2Fにあると思い込み、ランプ点灯を確認せず、シャッターを開けて作業用ラックを引っ張る形で後ろ向きで搬入しようとした。しかし、昇降台は2Fではなく1Fにあったため、そのまま転落した。シャッターを開け、昇降台を目視確認することなく、後ろ向きに荷物を搬入したことが原因である。	56	214	1	30~ 49
2017	7	10~11	成型工場内にて、プレスオペレーター作業の指導を受けていたとき、腰痛を訴え、指導者が体調が悪ければ無理をしないよう声をかけ、同日昼頃に早退した。原因は不明であるが、作業内容にゴム材料の用意（約20kgを5~6m運ぶ、1日に5~6回）と、ゴムバリの処分（約20kgを約50m離れた置場へ運ぶ、1日1回、台車使用可）があり、本人によると、それが原因と思われるとのことである。当月に入社して以来、当日までの作業内容は同じであった。	55	921	19	50~ 99
2017	9	18~19	ゴム練りを行うロール機前で、ロール機側から背部の通路側へ振り返り、歩行を始めた際、運搬作業をしていたフォークリフトに右足を踏まれ、被災した。	33	222	7	500 ~ 999
			切断機の中の払出口ロールにゴムが詰まり、取り出しが出来なかつ				

2017	9	11～ 12	た。この場合、モータのスイッチを切り止めて取り出し作業を行うか、クラッチを外し詰まったゴムを取り出す必要があった。しかし、このどちらの操作も行わず機械の稼働中に、指をカッターの間に入れてしまった。	36	169	7	1～9
2017	9	23～ 24	成型作業中に型締めをするアームが設備の不具合で通常はゆっくり回転して金型が開くものが、勢いよく回転してしまい、アームが振り切って成型機にぶつかり大きな音が鳴り、隣で作業をしていた仕上げ検査員が驚いて悲鳴をあげ、その悲鳴に成型作業者が驚き仕上げ検査員の方に振り向いた時に成型機の中に左手人差し指があり、上型が倒れてきて指を挟み骨接した。	56		7	30～ 49
2017	9	14～ 15	被災者がセンターラインのある県道を直進中、停止線のある左の側道より軽バン（相手方）が進入しようとしてくるのを認識した。 その軽バンが減速し、停止線で停止したのを確認したため、そのまま走行していると、ミラーにその軽バンが映ったので、とっさに右にハンドルをきってかわそうとしたが、衝突し、当該負傷に至る。 相手方は停止線で停止はしたものの、左右を確認せず、発進したようです。	46	231	17	1～9
2017	9	16～ 17	加硫缶から台車に載ったゴムロールをワイヤーで引き出した後、床に埋め込まれたドラムにワイヤーをきれに巻き取る際、ワイヤーを持ったまま巻き取り機に右手中指先端を挟み裂傷した。2人作業でひとりはワイヤーを持ち、ひとりは巻き取り機のリモコン操作をしていた、本来、ワイヤーの終端を持つべきところ、中間付近を持ち巻き取ったため、持ち替えることができなかったことと、巻き取り機のリモコン操作をしていた者との作業についての疎通が図れなかったことで事故となった。	25	169	7	30～ 49
2017	9	11～	ロール機にて練りゴム作業中、ゴムが手前のロールに巻きつくよう手前ロールの下方のゴムを左手で掴む際、右手を絶対に置いてはいけないロールの上部に誤って置いていたため、手袋と一緒にロール	52	163	7	10～

		12	に挟まり、緊急停止装置を起動させたが、間に合わず、右手人差し指を受傷した。					29
2017	10	11~ 12	当工場内において、ゴム製品の製造作業中、作業所内は高温の為、水分補給をしようと冷蔵庫の方に歩いていたら、誤って足を滑らせて転倒し、その際右手首から肘にかけて床に打ち付けて負傷する。	74	418	2		1~9
2017	10	10~ 11	取引先にて、トラックにタイヤを積み込む作業中、荷台から降りる時に、誤って足を引っ掛けて体勢を崩して地面へ落下してしまい、右手首と顎を打ち、負傷してしまった。	51	221	1		1~9
2017	10	9~ 10	会社工場内の自動車部品成型機で製造中、誤って型を上昇させるレバーに肘が当たり、上昇した型と成型機との間に左手の中指と薬指が挟まって、裂傷を負った。	33		7		10~ 29
2017	10	4~5	工場成型工程の成型機323号機にて、生タイヤ台車（縦約1,800mm×横約1,500mm×奥行約2,500mm、重さ約300kg、タイヤ24本程、車輪4個）を作業スペースまで移動（約2m）しようと引っ張った時、腰に痛みを感じた。	43	921	19		1000 ~ 9999
2017	10	5~6	ホースの製造で、ホースの芯となるマンドルを引き抜く作業をしていた。ホースの端に円周の切れ目を入れて切り離し、左手でホース本体、右手で切り離したホースを握り、切り離したホースを本体から引き抜く作業中に、右肩甲骨付近に痛みが発生した。当初は筋肉痛であろうと被災者は思っており、いずれ治ると思っていたため出勤していたが、後日寝返りもできないような状況となり、受診した結果、右第5肋骨疲労骨折と診断された。	41	529	19		50~ 99
2017	10	14~ 15	ゴム成型工場にて、ゴムパッキン製造のための前準備としてのゴム用切断裁断機にて操作・作業中、機械の完全停止確認を怠りゴム生地裁断後の残りの材料を取り出そうとしたため、ゴム裁断刃がおりて来た処、右手親指の先5mm程度を切断した。	31	169	8		50~ 99

2017	11	9～ 10	2F菓子包装ラインにて菓子選別作業中、選別機に詰まった菓子を取り除こうと左腕と身体全体を伸ばしたところ、選別台ガード部分が当たっていた左脇腹部分へ重心が掛けられた状態で「ゴリッ」という感触を覚え、左第8肋骨を骨折した。	35	162	7	30～ 49
2017	11	17～ 18	倉庫で片付け作業を終え、倉庫から出て来る際、倉庫の上り口と地面の間にある程度高さがあるため倉庫の入り口にステップとして置いてある石材に足を載せ下りようとしたところ、暗かったため石材の隅に左足を踏み出してしまい、足を捻りながら転倒し負傷した。	63	921	19	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	プレフォーマー（ゴム押出機）での作業時、ポンプ停止後、扉の中の治具の傾斜に気付いて取り出そうとした際、真上に停止していた回転式のカッターの刃が振動により落下し、右手人差し指と中指を負傷した。	65	169	4	50～ 99
2017	11	17～ 18	工場内で出荷場所から、ダンボール箱に入っている品物を運んでいる時に、台車に足が引っ掛かり転倒して左足を負傷した。	70	417	2	30～ 49
2017	11	13～ 14	作業場内で、製品に切り込みを入れる作業中、製品の刃によって切り込みを入れる道具を使用している時、製品を必要よりも深く持ってしまったため刃物を降ろした際、右手の指を切断してしまう状況になった。当社では本来、鎖の手袋を装着して作業を行うが、当日は、納期が近く2人体制で作業を行っており鎖の手袋は1つしか備えていなかったため、被災労働者は装着していなかった。右手中指先端切断と出血。	27	169	7	30～ 49
2017	11	22～ 23	ロール場の18インチロールで、圧延の準備作業中にロールの表面が汚れていたため、ロールを停止せずに、ウエスで拭き取り作業を行って、右手の中指、薬指、小指をウエスごとロールに巻き込まれた。	54	163	7	10～ 29
		22～	工場4階RAK成型機2号において、トップトレッドの貼り付けジョイント後ステップボタンを押し自動ステッチングを開始した。その時、プライコード先端がドラム上に垂れ下がっていたので修正の				1000

2017	11	23	為、左手で先端を掴みエプロンガイドに戻そうとしたところ、PLYが生タイヤに接触し、左腕がPLYごとトラムに巻き込まれ、その反動で前のめりになり、顔面をエプロンガイドにぶつけた。	33	169	7	～ 9999
2017	12	7~8	工場内駐車場に車を止め、事務所へ向かって歩いている時、路面が凍っていることに気付かず足を滑らせ右肘を着いて転倒した。その後、自分で立ち上がり事務所へ入室したが、20分程時間をおいて置いてから右肘に違和感があり、コブの様に腫れている事が分かった。※病後、右半身が動き辛い状態で、災害発生時は杖を使用して歩行していた。	53	719	2	100 ～ 299
2017	12	15~16	本社工場屋外において、幅35cm・直径1.5mのロール状に巻いてあるコンベヤベルト（重量約700kg）を1人で所定の場所に片付けていた。その際、コンベヤベルトが横倒しになりそうになり、横倒しを防ごうとして倒れる方向に進入したが、支えきれずにコンベヤベルトの下敷きになり、右足の甲を負傷した。	25	529	5	10～ 29
2017	12	9~10	当社2階包装資材加工場において、本人は製袋機でエアセル袋を加工中、熱で製品がバールにつき、その詰まった物を取り除こうとした。機械を止めずに、入れてはいけない奥の部分へ左手を入れたため、バールに挟まって負傷した。	49	169	7	10～ 29
2017	12	10~11	社内で年末の大掃除をしていた際、使用していないプレス機を移動しようとした。会社からは、大きなリフトで移動するように指示があったが、社員3人がパレット用の小型リフトで移動を行った結果、バランスを崩し、被災者の方に倒れてきた。それを避けようと逃げたときに、右足を捻ってしまった。	57	362	5	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html